令和６年度　　学校評価表　　吉舎中学校区　　三次市立　（　八幡小　　）　　学校

小中一貫教育目標	「自ら学び　考え　自立した行動ができる『きさ』の子ども」の育成	経営理念	○ミッション　なりたい自分の夢や目標の実現のために，八幡のひと・こと・ものとの対話を通した多様な体験活動を通して，八幡に育つ幸せを感じるとともに，Well-beingを実現する人材の育成に貢献する。
学校教育目標	やさしく　かしこく　しなやかな　児童の育成		○ビジョン　・表現する力の育成 ・自らの挑戦に向かう力の育成 ・「やわた」の特色ある学びの充実・発信

A　適切である
B　概ね適切である
C　あまり適切でない
D　全く適切でない
（N　判定できない）

評価計画							自己評価						学校関係者評価	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方法	評価指標	目標値	達成値 中間	達成値 最終	達成度	評価	分析（成果と課題）	改善方策	評価	記述
確かな学力		確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実現	基礎的・基本的な知識・技能の定着	①自己の目標を設定する。自分の弱点（間違えた問題）を自主ノートで復習する。 ②個々の実態把握と個別最適な学びにより，学び直しをさせる（ドリル朝会，個別指導，実態に合わせた課題提示等）。	・単元テスト学年平均点が目標値を上回る学年の割合 （中間） ・三次市学テで全国平均を上回る学年の割合（年度末）	70% 75%	75% －		107 －	A －	単元テスト達成率３・４年 国語100%，算数100% 理科100%，社会100% 単元テスト達成率５年 国語100%，算数 91% 理科100%，社会100% 単元テスト達成率６年 国語100%，算数100% 理科100%，社会100% ５年生の算数の1単元以外は，全科目目標値を上回ることができた。	引き続き，少人数であることを生かし，授業では個に合わせたきめ細かい指導を行い，個々の力を分析し，個別指導を丁寧に行う。	A A A A	・少ない児童ということころに依存せず，丁寧な指導が行われている。 ・少人数であるため，指導が行き届き，理解した上で次の課題へと進むことが全員できている。 ・少人数の良さで，個々の実態に合わせて，最適な学びを考えて指導を細かくしてもらえることが，学力向上につながる，つながっていることが，学力テストなどで評価されている。子どもたち自身が学習のおもしろさを感じ，頑張る力を持つこと等につながるのだろうと思った。
			「表現力」の育成	①多様な体験や活動と関連付けた表現活動や各行事へ向けた取組みを通して，自ら考え工夫して表現させる。 ②各種作品コンクールに年間で一人６本以上取り組む（習字・俳句・作文・絵画など）。	児童アンケートによる達成率 作品提出数	90% 100%	100% 作品は取り組み中（１年を通して行う。）		111 －	A －	・児童アンケートで１００％肯定的な回答だった。 ・毎日日記を書いているので，その日あった印象的な出来事を書く習慣がついている。丁寧に返事を書くことで，児童にいろいろなことを考えさせる機会になっている。また，良い表現やみんなで考えたいことを紹介することもできている。 ・他学年や先輩たちの表現の良い所を掲示して読ませることで，表現の参考にすることができた。	・良い所や考えたいことを共有することで，表現の幅が広がっているので，これからも，続けていきたい。 ・豊かな表現に触れさせるため，今後も，教科書や本，児童にとって身近な人の作品を掲示する。	B A A A	・どのような記述のアンケートかを示されるとより分かりやすい。 ・日記を書く習慣，各種作品に積極的に取り組んでいる姿勢が窺える。 ・毎日，日記を書く習慣は，すごいと思う。振り返って，自分の表現を言葉，文章，言い回し等で伝えていくことは大切だと思った。その返事にも丁寧に返されているので，子どもたちの表現も，気付いて広がっていくのだなと思った。表現を取り上げて褒めてもらえると嬉しいですね。紹介してもらって，また力になるのだと思った。 ・中国新聞の子どもの俳句など，誰でも見る事のできる所での発表は，子ども達の励みになって良い。

豊かな心		主体的に表現しようとする児童生徒の育成	自己有用感の向上	①オペレッタ，八幡子ども太鼓，やわた寄席の努力ぶりを全校の前でしっかり評価する。(児童同士・教職員) ②「福祉・ふるさと教育」に取り組み，地域に学び地域に返していく活動を充実させる。 ③行事や委員会などで一人一人が活躍する場を設定し，自己肯定感を高める取り組みを充実させる。	児童アンケート総項目の平均値	90%	100%		111	A	「工夫しながら行事に取り組む」については，100%の児童が「できた」と回答した。「お互いの頑張りを評価し合った」については，肯定的に回答する児童が100%であった。 「コミュニケーション力の素地となる「挨拶を進んでする」「相手の話に反応する」の項目については100%の児童が「できた」と回答した。 「行事や委員会等で自分の役割を果たす」については，肯定的に回答する児童が100%であった。	少人数となり、3年生以上のすべての児童が様々な場で学校の一員として活動する機会がある。適切な評価を行うことにより、自己有用感を高める取組を継続する。	A A A A	・様々な行事を活用し，一人一人に役割がある取組みが行われている。多分100%になるように，丁寧に取り組まれていると思う。指標に工夫があってもいいかもしれない。 ・日々の学校生活の中で，少人数ゆえに，何らかの係，担当が，一人一人に当たっているため，自ずとすべきことを認識し，責任を果たそうとする気持ちや行動を持つようになる。 ・少人数の中で，オペレッタ，八幡子供太鼓，やわた寄席など行事に向かって，みんなで取り組むことで，一人一人が達成感，自己肯定感を味わい，友達や先生から褒めてもらえる嬉しさ，充実感がいっぱいだと思う。自信をもって様々な活動，役割をしていくことにつながるのでよい取組だと思う。
			規範意識の醸成	① ブラッシュアップした教材を活用し，考えを伝えあう授業づくりを行う。また，道徳と行事をタイアップさせる。 ②ステージ発問の導入を意識し，道徳の授業を充実させる。 ③「あいさつ・返事・学習の習慣」を奨励し，その成果を評価する。地域・来校者の方にも進んで気持ちの良いあいさつをする。	児童アンケートで肯定的に回答する児童の割合	90%	91% 100%		101 111	A A	・児童アンケートでは，ほぼすべての質問項目において肯定的な回答であった。 ・「道徳授業で考えを伝える」については肯定的回答が91%，「あいさつ」については，「できた」と100%回答していた。 ・学校を訪問される方からもお褒めの言葉をいただき，児童の自信につながっている。	・道徳と行事をタイアップして取り組んだ。地域教材については，２学期に取り組む予定である。 ・児童の自発的な行動をしっかり評価し，進んで気持ちの良い挨拶ができるようにする。 ・外部の人からの評価を児童に伝え，たくさんの人からほめられることで，自信をもって良い行動を行う機会をこれからも多く作る。	A A A A	・いつ見ても意欲的に学んでいて，それだけに指導の工夫は求められているだろうと思う。頑張っておられる。 ・授業でも，一人一人が積極的に手を挙げて発言することができているし，互いを高め合う，尊重し合うことができている。 ・行事を道徳と合わせて学習に取り組まれたり，挨拶や返事，学習の習慣を奨励，成果を評価することで，子どもたちの意識も変わり，アンケートで肯定的な回答が多いことにつながったのだと思う。子ども達の自発的な行動により期待したい。
				①テレビ・ゲーム・インターネット利用の実態把握を行い，学校懇談会で	学校懇談会で保護者と交流，方向性の検討を							B	・各家庭でそれぞれ目標（メディア対策）をもって取り組んでいる。ただ，受

健やかな体		健康の保持増進と体力の向上	生活習慣の確立	握を行い，学校懇談会で保護者に啓発し，取組みの充実を図る。	行った回数（３回）	100%					学期1回，全校懇談会を実施し，メディア利用の状況や適切な利用に向けた工夫などを交流する計画であるが，1学期は４月に全校懇談会を開催した。	２学期以降，児童，保護者に向けた学習会を実施する計画である。 メディア利用についての意識付けを図るため，継続して振り返り週間を設ける。	A	け止め方は様々であるので，幅があることは否めない。 ・テレビ，ゲーム，インターネット利用について，懇談会で保護者に啓発して取り組まれ，今後も，保護者への取組が計画されているので，子ども，保護者ともに考えていく機会も増え，意識が変わっていくことを期待したい。
			体力の向上	①合同体育・全校体育を実施し他学年と切磋琢磨することで体力の向上をめざす。 ②頑張り表や記録証を活用し，自己目標を設定させ，達成感を持たせる。	児童アンケート 「自分で進んで体力づくりに取り組んだ」 を肯定的に回答する児童の割合	90%	100%		111	A	児童アンケート 「自分で進んで体力づくりに取り組んだ」 については，肯定的に回答する児童が100％であった。 毎日の体力づくりや合同体育などの取組の結果，運動能力テストでは全員がＣ以上の判定であった。（A～Ｅの５段階）	体力づくり表，マラソン・縄跳びカード等を活用して体力づくりに進んで取り組ませる。	A A A A	・「自分で進んで体力つくりに取組んだ」というアンケート内容は，目指す姿を意識するのにもよいと思った。 ・昼休みには全員で遊び，体力の向上が育まれている。また，スポーツ選手が交流によく来ていただけているので，よい刺激を得ている。 ・合同・全校体育などの取組みで，同学年や他学年を意識しながら，自ら，体力の向上につなげていくという成果が出ている。これからカード等で自らがより見通しや意欲をもって取り組めるように考えられているので，その成果も期待したい。 ・外部からの先生による体操教室を実施され，楽しみながら体を動かし，教えてもらった運動を普段からやっていきたいという声が出ているのは，素晴らしいと思う。
信頼される学校		地域・保護者から信頼され期待される学校づくり	地域とともにある学校づくり	①便りや通信，ＨＰ等で子供の様子を具体的に発信する。 ②伝統を引き継ぐを視点にオペレッタ，八幡子供太鼓，やわた寄席を保護者・地域に公開し，児童の学びの成果を公開する。	行事実施後のアンケートにより，保護者，地域からの評価をいただいた回数 （５回）	100%					前期は運動会，給食試食会の時にアンケートを実施し，保護者・地域の方の意見を聞くことができた。	情報発信，メディア利用の啓発について積極的に取り組む。	－ A A —	・100％になる指標なので，アンケート内容等も今後分析されるとよいと思う。 ・今年は，夏のふれ愛の夕べが中止となり，地域活動への参画の機会がひとつ減ることとなったが，様々な活動において地域との連携が取れている。 ・便り，通信，HPなどによる積極的な発信や伝統的なものを大切に引き継ぎ，保護者，地域とともに継承していかれている。共に学校つくりをされ，地域の中で子どもたちが育っていることを感じる。 ・修学旅行で銀閣寺の奥田元宋先生の襖絵を特別に拝観でき，地元出身の凄い人を知る良い機会になったのは良かった。
				①教職員の意識改革を進めるための研修の実施	勤務時間外在校時間が月４５時間以下の月の								A	・指標の見直しをされてもよいのではないか。

			働き方改革の推進	②一斉退校日の完全実施	割合	85%	100%		117	A	一斉退校日を計画通りに実施することができ，目標も達成できた。日課の見直しにより放課後の時間が増えた点はよかったが，職員減による出張，分掌事務の増加，放課後の個別指導等により，勤務時間内に仕事を終えることが困難な状況にある。	校内会議・委員会等の効率化を図り，授業や行事の準備などが余裕をもってできるようにする。また，教職員も時間を有効に使うように日々計画を立てて仕事に取り組む。	A A A	・教職員の人員が少ない中，各人の負担が増しているところが憂慮すべき点である。 ・働き方改革として，職員の意識を研修により変えていく取組みや一斉退校日の実施で，全職員の意識に変化もあり，より計画的な積み重ねで業務に取組めると思う。

【自己評価】　Ａ：達成度１００以上（目標達成）　，Ｂ：８０≦達成度＜１００　（ほぼ達成）　，Ｃ：６０≦達成度＜８０（もう少し）　，Ｄ：達成度６０以下（できていない）